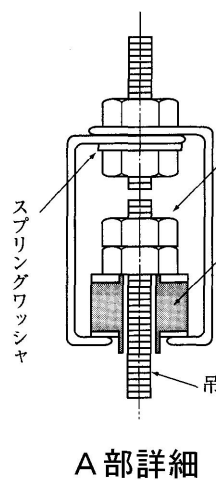
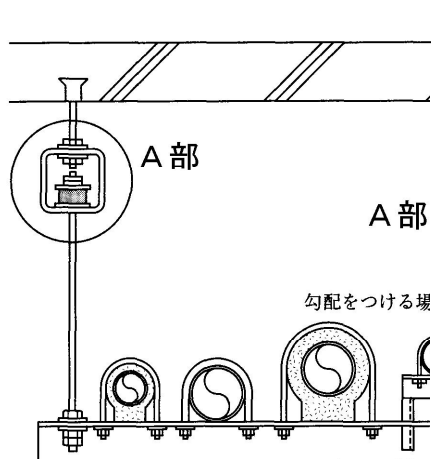
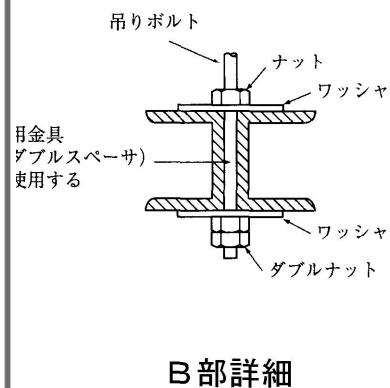
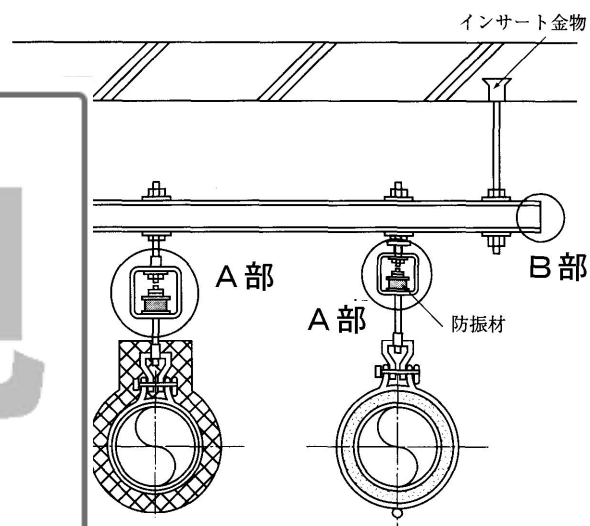


施工方法

(1) 集中防振の場合



(2) 個別防振の場合



留意事項

- ① 防振材は、重量・固有振動数等を計算して選定する。
- ② ゆるみ防止は、スプリングワッシャを付けて防止する。
- ③ 振動するおそれのある配管を支持する場合に使用するナットは、ダブルナットまたはスプリングワッシャ等を使用する。また、鋼材のテーパ部でナットを締め付ける場合は、鋼材のテーパに合ったテーパワッシャを使用する。

溝形鋼は 5°、I 形鋼は 8°、L 形鋼は平ワッシャとする。

- ④ 耐震支持する場合は、状況に応じ防振材の効果を減じないように、振れ止め材を設置する。
- ⑤ 支持点は、配管の接合部（継手部）を避け、接合部から 300mm 以内で支持する。